

令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立平岡中学校

1 教育目標

「こころ豊かで自立した生徒の育成」～生徒に寄り添い、対話を重視する教育の実践～

2 基本方針

- (1) 生徒の学力向上・・・主体的・対話的で深い学びの推進
 (2) 生徒指導体制の確立・・・基本的生活習慣の徹底 一人ひとりの良さを認め、個性を伸ばす指導体制
 (3) 生徒会の活性化・・・生徒会活動の活性化と、生き生きとした生徒の育成
 (4) 教師力の向上・・・協同的探究学習を踏まえた授業改善・ICTを活用した授業改善

3 指導目標

(1) 自立の育成 (2) 「確かな学力」の育成 (3) キャリア形成への支援 (4) コミュニケーション能力の育成 (5) 「ことばの力」の育成 (6) 特別支援教育の充実 (7) 人権尊重の精神を生かす道徳・人権教育の充実 (8) 生徒理解に基づく生徒指導 (9) 魅力ある授業の展開 (10) 教職員の協働体制の確立 (11) 開かれた学校づくりの推進

評価基準

A: できている

B: だいたいできている

C: あまりできていない

D: できていない

E: わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
生徒の学力向上	主体的・対話的で深い学びの推進	B	授業指導の計画は、生徒の興味・関心を広げ、意欲的に学ぶことができるよう工夫しているが、さらにペアやグループ活動を積極的に取り入れ、生徒同士が対話を通じて考えを深め合う場を取り入れたい
生徒指導体制の確立	基本的生活習慣の徹底 一人一人の良さを認め、個性を伸ばす指導体制	B	日々、生徒一人一人との対話を大切に指導を行っているが、さらに保護者とのコミュニケーションを通じて、生徒の個性や生活習慣についての情報を共有し、家庭との連携を深めることで一貫性のある指導体制を構築したい。
生徒会の活性化	生徒会活動の活性化と、生き生きとした生徒の育成	B	生徒会活動は非常に活発に行っているが、今後はさらに生徒自身が興味を持てるプロジェクトを企画・運営する機会を増やしたい。
教師力の向上	協同的探究学習を踏まえた授業改善・ICTを活用した授業改善	B	今までの対話を中心とした学びに加え、GoogleWorkspaceのツールを活用し、生徒間での情報共有や共同作業をデジタル上で行えるようにしたい。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
現在の学習の主体である「対話的で深い学び」を推進していくうえで、ペアやグループワーク活動を取り入れることは有効な手段と考えます。今後のさらなる生徒の学力向上に繋がっていくよう、期待しています。	B
毎日の生徒とのかかわりが非常によくわかりました。今後は、家庭の保護者と連携を密にし、生徒の個性を伸ばしつつ、基本的生活習慣が身につくよう引き続き指導を行うことを願っています。	B
生徒会活動が活発に行われているということは、校舎内を見学するとそれが伝わってきます。今後は、生徒自身が様々な行事を運営できるようなサポートを行っていけるよう期待しています。	B
ICT機器の活用については、無限にあると考えます。日々、教材の研究をしっかりと行い、生徒たちに有効なICT活用ができることを期待しています。	B